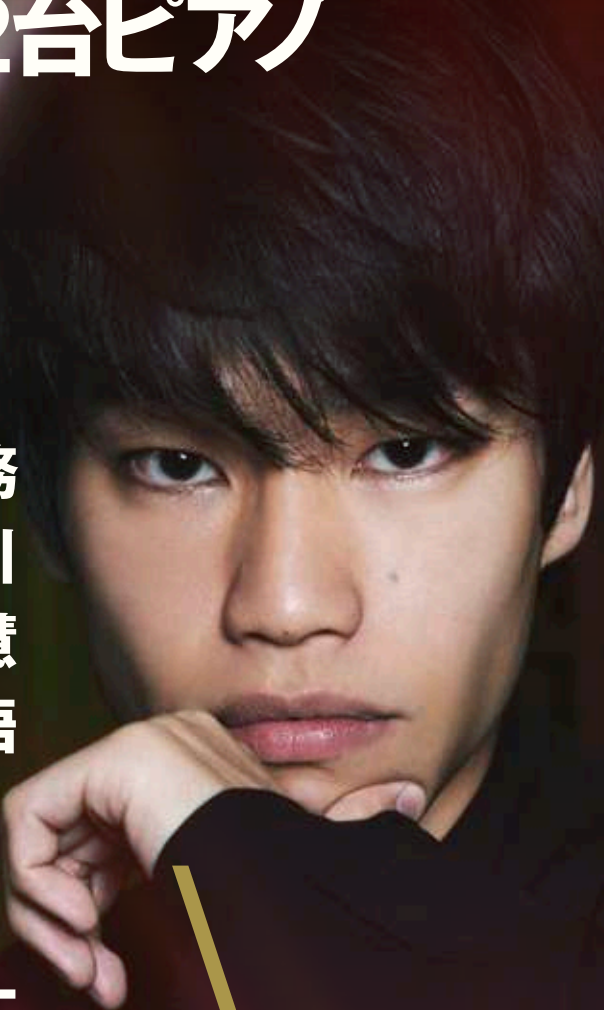


春の祭典 / ペトルーシュカ / 火の鳥  
ストラヴィンスキー 三大バレエ  
× 2台ピアノ

STRAVINSKY  
BALLET  
RUSSSES

Mukawa Keigo × Nathalia Milstein  
務川 慧悟  
ナターリア・ミルステイン



VS

リサイタル・シリーズ

この躍動するリズム。  
今をときめくピアニストが  
鍵盤上で踊る

Vol. 9

2024.6.18 [火] 19:00開演 (18:00ロビー開場)  
東京芸術劇場 コンサートホール

全席指定 (税込) ¥6,000 / 高校生以下 ¥1,000  
発売日: 芸劇メンバーズ先行 2024.2.24 [土] 10:00 ~  
一般発売 2024.3.2 [土] 10:00 ~  
お申込み・お問合せ: 東京芸術劇場ボックスオフィス (休館日を除く 10:00 ~ 19:00)  
0570-010-296  
<https://www.geigeki.jp/t/>

PROGRAM  
オール・ストラヴィンスキー・プログラム  
春の祭典 The Rite of Spring  
ペトルーシュカ Petrushka  
火の鳥 The Firebird

東京芸術劇場  
Tokyo Metropolitan Theatre

主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場  
協賛: スタインウェイ・ジャパン株式会社

# ストラヴィンスキーの三大バレエ音楽をパリと縁の深い俊英たちが熱演する!

Mukawa Keigo



©Yuji Ueno

## 務川慧悟

2021年世界三大コンクールの一つである、エリザベート王妃国際音楽コンクールにて第3位受賞。2019年にはフランスで最も権威のある、ロン＝ティボー・ユクレスパン国際コンクールにて第2位受賞。バロックから現代曲までレパートリーは幅広く、各時代、作曲家それぞれの様式美が追究された演奏、多彩な音色には定評がある。また現代ピアノのみならず、古楽器であるフォルテピアノでの奏法の研究にも取り組んでいる。東京藝術大学を経て、2014年パリ国立高等音楽院に審査員満場一致の首席で合格し渡仏。ピアノ科第3課程を修了、室内楽科第1課程修了。現在は国内外での演奏活動の傍ら、フォルテピアノ科に在籍し研鑽を積んでいる。最新アルバム:「ラヴェル:ピアノ作品全集」2022年11月30日にリリースし、好評を博している。  
公式ウェブサイト  
<https://keigomukawa.com/>

**チケット料金 全席指定(税込) 6,000円 / 高校生以下 1,000円\***

※高校生以下割引チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスのみ取扱い(枚数限定・要証明書)。  
※障害者手帳をお持ちの方は、割引料金でご鑑賞いただけます。詳細は東京芸術劇場ボックスオフィスにお問合せください(要事前予約)。  
※未就学児はご入場いただけません。  
※開演時間に遅れますと、しばらくの間ご入場いただけない場合や、自席にご案内できない場合がございます。  
※公演中止の場合を除き、ご予約・ご購入いただきましたチケットのキャンセル・変更は承れません。  
※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等に変更が生じる場合がございます。  
※ご来場前に必ず当劇場WEBサイト内の注意事項と本公演の直前情報をご確認ください。

## チケットお取り扱い

- ▶東京芸術劇場ボックスオフィス **0570-010-296** (休館日を除く10:00~19:00)  
<https://www.geigeki.jp/t/> \*24時間受付(メンテナンスの時間を除く)
- ▶チケットぴあ <https://pia.jp/t/geigeki/>
- ▶イープラス <https://eplus.jp/geigeki/>
- ▶ローソンチケット <https://l-tike.com/>

お問合せ:東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(休館日を除く10:00~19:00)

**【東京芸術劇場託児サービス】**  
株式会社ミラクス ミラクスシッター ※有料・定員制・土日祝を除く  
Tel: 0120-415-306 (平日9:00~17:00) 希望日1週間前迄に要予約

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場  
協賛:スタインウェイ・ジャパン株式会社

この『VS』シリーズにてストラヴィンスキーの三大バレエを取り上げてもらえないか、とのお話を頂いた、ちょうどその頃に知り合ったロシア生まれで、フランス育ちのピアニスト、ナターリア・ミルステインさん。  
彼女のプロコフィエフのCDを紹介されて聴いた時、その大変生き生きとした感性に感銘を受け、まさにこの公演内容にぴったりの方ではないかと思ひ、僕のたつての希望で、日本へはるばる来ていただくようお願いする運びとなりました。  
同じようにロシア生まれで、パリで活躍したストラヴィンスキーの音楽は、前衛的でありながらも古典的、さらには原始的とも言える要素を基盤に置いたもので、その複合的要素の融合からくる魅力には非常に奥深いものがあります。  
今回演奏する3つのバレエはどれもパリで1910~1913年の間に初演されたもの。  
初演の大成功でストラヴィンスキーを一夜にして時代の寵児へと押し上げた『火の鳥』、余りに前衛的な作風からセンセーショナルな論争を巻き起こした『春の祭典』等を通して、パリの謂わゆるBelle Époque(ベル・エポック)―良き時代、を存分に味わっていただけたらと思います。  
務川慧悟

2台ピアノを主軸としたリサイタル・シリーズ「VS」。今をとぎめくピアニスト 務川慧悟の登場です。難関エリザベート王妃国際音楽コンクール 第3位受賞後も、作曲家の意図を立体的に構築していく繊細なアプローチとそれを実現する高い技術で、音楽ファンを釘付けにしています。務川が共演者として熱望したのは、ヨーロッパで頭角を現している俊英 ナターリア・ミルステイン。ミルステインは今回が初来日であり、務川との初共演となります。  
ふたりが今回挑むのは大曲、ストラヴィンスキー/三大バレエ音楽「春の祭典」「火の鳥」「ペトルーシュカ」。オーケストラ曲として著名なこの巨大な作品たちが、2台ピアノで一挙に演奏される機会はめったにないでしょう。  
2台のピアノが複雑に絡み合い、紡がれていく壮大な音楽に、胸が熱くなることは間違いありません。またとないこの“瞬間”にぜひお立会いください。



Nathalia Milstein

©Marco Borggreve

## ナターリア・ミルステイン

音楽家の家に生まれ、4歳から父であるセルゲイ・ミルステインよりピアノの手ほどきを受ける。ジュネーヴ高等音楽院ではネルソン・ゲルナーに、またベルリンのバレンボイム・サイド・アカデミーではアンドラーシュ・シフに師事した。2015年にダブリン国際ピアノコンクールで第1位を獲得すると、ニューヨークのカーネギーホール(ザンケルホール)、ロンドンのウイグモアホールなど世界各地の著名な会場に登場。指揮者ではミッコ・フランク、マティアス・ペンチャーらと共演。2021年9月発売のセカンド・アルバム『Visions Fugitives』は、批評家が選ぶ2021年の最優秀録音としてChoc de Classicaを受賞した。数年前より姉でヴァイオリニストのマリア・ミルステインとデュオを組み、『La Sonate de Vinteuil』(2017)と『Ravel Voyageur』(2019)をフランスのレーベル、ミラレーから発表。世界の批評家から賞賛されている。

## チケット発売日

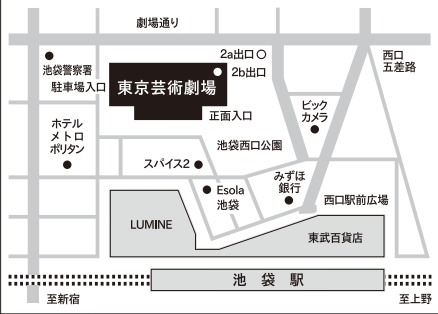
- ▶ 芸劇メンバーズ先行 **2.24[土] 10:00 ~ 3.1[金] 23:59**
- ▶ 一般発売 **3.2[土] 10:00 ~**

## 会場

# 東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

〒171-0021豊島区西池袋1-8-1 TEL 03-5391-2111  
▶ JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線  
池袋駅西口より徒歩2分。駅地下通路2b出口と直結。



東京芸術劇場 リサイタルシリーズ  
**小林愛実 ピアノ・リサイタル**  
2024.7.10[水]  
▶芸劇メンバーズ先行 **3.16[土]10:00~3.22[金]23:59**  
▶一般発売 **3.23[土]10:00~**

©Shuhei\_Tsunekawa